

# ゾントクラブ2024年（令和6年）度月別年間活動報告

京都II ゾントクラブ 2024年6月～2025年5月

## 2024年

- 6月・例会・年次総会 出席者32名 於：京都ホテルオークラ  
2024年度奨学生 久住あかね氏へ奨学金目録贈呈  
・世界大会（プリズベン）内田真理子前年度会長出席  
・理事会  
・クラブのFacebookアカウント開設
- 7月・例会 出席者27名 於：京都ホテルオークラ  
2024年度YWPA奨学金を受賞者 古東華典氏に贈呈  
・理事会
- 8月・納涼例会 出席者22名  
於：パークハイアットKYOTO BISTRO  
・理事会
- 9月・例会 出席者29名 於：京都ホテルオークラ  
・理事会  
・例会 出席者30名 於：京都ホテルオークラ  
40周年記念式典準備  
京都II ゾントクラブニュース No.39配布
- 10月・40周年記念式典（於：ホテルオークラ京都）  
・京都I ゾントクラブチャリティーバザー 33名参加  
・理事会  
・クラブホームページ移行（40周年記念事業）
- 11月・大阪I ゾントクラブ創立60周年記念式典 10名参加  
・移動例会 出席者23名 於：妙心寺退蔵院  
松山大耕副住職講和・塔頭見学  
・オレンジキャンペーン実施  
・理事会
- 12月・京都I ゾントクラブ創立60周年金式典 19人参加  
・アメリカ・イアハート記念例会 出席者38名  
於：京都ホテルオークラ 佐々木AD来訪  
講演 ヘリコプターパイロット 青山慶子氏  
「私の挑戦」  
・大津ゾントクラブチャリティクリスマスパーティ&バザー  
12名参加  
・理事会

## 2025年

- 1月・例会・合同新年会 出席者23名  
於：ホテルグランピア京都  
・理事会
- 2月・例会 出席者30名 於：ホテルオークラ京都  
留学報告 奨学生 久住あかね氏「台湾での学び」  
・理事会
- 3月・大阪II ゾントクラブチャリティーイベント 3名参加  
・例会 出席者32名 於：ホテルオークラ京都  
ローズデー記念 寄付金贈呈  
児童養護施設つばさ園、京都市児童療育センターきらきら園、  
NPO法人こどもセンターののさん、NPO法人アウンジャ、  
社会福祉法人白百合会、RAWAと連帯する会  
スピーチ RAWAと連帯する会 北垣代表  
・理事会
- 4月・エリアミーティング、アジア地区間会議（AIDM）  
8名参加  
・例会 29名出席 於：御寺 泉涌寺 妙応殿  
園遊会準備  
・理事会  
・第41回園遊会 於：御寺 泉涌寺 妙応殿
- 5月・例会 出席者28名 於：ホテルオークラ京都  
2025年度奨学生 原田真采氏に奨学金贈呈  
・理事会

### 役員（2024年6月～2025年5月）

| 役員                | 理事         |
|-------------------|------------|
| 会長 一澤 恵美          | 会員担当 谷内真佐美 |
| 副会長 根岸 祥子         | 〃 白石 由里    |
| 会計 渡辺 都           | 企画担当 内田 雅子 |
| 書記 吉松 裕子          | 〃 畑 知子     |
| 〃 山本佳陽子           | 交友担当 平岡 由子 |
| どうぞよろしく願いいたします 一同 |            |

## 編集後記

40周年記念事業の一環として、京都II ゾントクラブのウェブサイトを更新し、SNS (Facebook) も開設しました。40年の歩みをまとめるだけでなく、今後の活動をより身近に感じていただけるよう、画像や動画も交えて日々の情報発信を充実させていきます。新しい発信のかたちを取り入れることで、心のこもった奉仕活動の様子をお伝えし、一人でも多くの方に関心をお寄せいただければ幸いです。

また、SNSを通じて「ゾントの和」が広がり、対面でのつながりが生まれ、私たちの活動にご参加いただくきっかけとなることを願っています。 (編集委員 山本佳陽子)



## 「QUALITY」(品質) から 「EQUALITY」(平等) に

会長 一澤 恵美

この1年間は、10月の「京都II クラブ創立40周年記念式典・祝賀会」に始まり、4月の「エリアミーティング」、「AIDM」、その後ほっとする間もなく、京都IIの誇る「園遊会」、と嵐のように過ぎた日々でした。

京都II クラブでは、今でもチャーター会員が12名在籍していると、誇りに思っていますが、会の創立の際に40代だった会員は80代に、50代だった会員は90代になっているのが現実です。それでも今なお、会員皆がフットワーク軽く、パワフルに働いてくださることは、様々な催しのたびに驚き、嬉しく思うことです。ただ、4月に開催されたAIDMで、各地区の若い女性の素晴らしい報告を聞いて、京都IIクラブの平均年齢を思い、会員の仲が良く、居心地の良さに甘えているのではなく、若い会員を増やす努力をしなくてはと、実感しました。

先日“ミュンヘンII ゾントクラブ”のゾンシャンにお会いする機会があり、“ZONTA SAYS NO”の取り組みを伺いました。そのクラブでは、オレンジキャンペーンの一環で、オレンジ色のベンチを作って設置することを行政に提言して作ってもらい、そのベンチにゾントクラブがプレートを貼るのだそうです。そのプレートには“ZONTA SAYS NO”の、メッセージとQRコードが付いていて、被害にあった女性がQRコードを読み込むと、24時間対応する組織に繋がるそうなんです。このように、直接被害を受けた女性に届く取り組みができるのです。日本でも考えてみてはどうでしょう？

アイスランドでは、女性の国会議員が46%、閣僚は11人中6人が女性で、ジェンダーギャップは16回連続で世界一です。大統領である、トーマスドットイルさんに、日本の進む道について聞いたところ、「日本は“E”が足りないのでは」とのことです。日本は「QUALITY」(品質)を大事にしているのだから、そこに「E」を加えて「EQUALITY」(平等)にすることで、未来がより明るくなるだろうと。たかが「E」ですが、大きな「E」です。

※2026年5月17日のエリアミーティングでは、京都IIがホストクラブを務めます。

皆さまに京都でお会いできますのを、楽しみにしております。

## 国際ゾンタ26地区エリア3 第17回エリアミーティングに参加して

船越 依津子

2025年4月4日、「国際ゾンタ26地区エリア3 第17回エリアミーティング」に参加しました。今年のエリアミーティングのホストクラブは京都Iゾンタクラブでした。開催地は、通常ホストクラブのホームグラウンドとなるところですが、今回は、博多で26地区の4つのエリアが同時開催、3時間の短縮版という、例年とは異なった形で、エリアミーティングが行われました。

### ◎ワークショップが中心

エリア3のテーマは「次のステップへ！ゾンタの力で広がる未来のために」。26地区の会員数はこの10年で約200人減少（私のメモでは970人から741人に）。26地区の今期目標でもある会員増強についての戦略を考えることがエリアミーティングの課題でした。例年のように基調講演や各クラブ代表による活動報告はなく、ワークショップに長めの時間が配分されました。

ワークショップでは、まず、金沢ゾンタクラブから会員増強の取り組み事例が発表され、次に、グループに分かれて課題についてディスカッションをしました。

会員増強については「ゾンタの理念に共感してもらったうえで入会を勧めることが大切」という点で私が参加したグループの意見が一致しました。また、入会前に会費以外の個人負担や、役がまわってくるなどについても説明がなされていないと、せっかく入会しても入会後に疑問が生まれ、ときには退会に繋がってしまうという話も出ました。京都IIクラブの場合、現時点での退会理由は、長くゾンタに在籍された方が、年齢や体調などのご事情によるケースに限られています。今後、会員増強に取り組む上で、丁寧に説明する姿勢はとても大切だと感じました。このワークショップは、他クラブの活動の様子を知ることができて、とても有意義な時間でした。

### ◎資料の事前配布

今回のエリアミーティングでは資料はすべて事前にメールで配信され、当日配布はされませんでした。事前に資料に目を通すことができ、ありがたいことでした。ペーパーレスは時代の流れであり、資料のメール配信は、今後若い世代をゾンタに迎えるという「次のステップ」への必然のように私は考えますが、従来どおり紙の冊子を望む声も聞かれました。

### ◎来年のエリアミーティングに向けて

今回のエリアミーティングの開催にあたって、佐佐木エリアディレクターと京都Iゾンタクラブの間では、話し合いが重ねられたそうです。エリアミーティングの開催パターンが例年とは異なる形であったことで、ご苦労の上にも慣例を見直し、新しいエリアミーティングが実現できたと思います。

来年のエリアミーティングは、京都IIクラブがホストです。これまでの歴史と新しさを融合させ充実したエリアミーティングになるよう、微力ながら、私もお役に立てればと思いました。

第3回アジア地区間会議 (AIDM) のパンフレットに広告協賛し、来年のエリアミーティングをアピールしました

## The 3rd Zonta Asian Inter-District Meeting (第3回アジア地区間会議) (以下 AIDM)

～本会議プログラム委員として参加して～

早川 久仁子

2025年4月5日・6日ホテルニューオータニ博多にて開催された。参加国は17地区 [香港・タイ・シンガポール・マレーシア・フィリピン]、25地区 [インド・バングラデシュ・スリランカ・ネパール]、26地区 [日本]、31地区 [中華民国(台湾)・モンゴル] 32地 [韓国] 以上5地区13か国であった。

思い起こせば1989年にインドのマドラスで開催されたアジア地区大会での3分割から32年ぶりに第1回 AIDMがフィリピン (17地区) で開催され、2回目は台湾 (31地区)、そして3回目に日本 (26地区) が担当することになった。次回4回目はバングラデシュ (25地区) と決まった。参加人数は日本が334人、海外が298人、合計632人となった。

### 1. まずは組織作り、実行委員会役割分担を決める (敬称略)

実行委員長 (和田津美智代)、副実行委員長 (木下彰子)、プログラム関係総括 (浅野万里子)、本会議 (岡部・早川)、エンターテインメント (高木・岩井)、印刷物 (田中)、運営関係総括 (矢崎和喜子)、スポンサーシップ (山本)、プロトコル (岩田)、登録受付 (矢代・三宅)、広報 (向井・松村)、記録 (飯島)、ゾンタストア (山川)、会計 (粒崎幸夫)、通訳・翻訳チーム、MCチーム

### 2. テーマを決める

Build a Better for Women and Girls (女性と少女のためのより良い世界を築く)  
サブテーマ ~Role of Zontians in Asia (アジアのゾンシャンとしてできること)

### 3. 素晴らしい仲間たち

月1回又は2回開催されるZoom会議では2時から2時間を超える熱心な意見交換がなされた。それぞれの立場に立って実力を発揮され、私は只々素晴らしい仲間だと感心するばかりでした。本当にゾンタを愛しこの2日間のミーティングに掛ける熱意は凄かった。

参加者が予想通りに集まるか、寄付金は集まるか、本当に一喜一憂の毎日だった。

当日私たちチームは舞台袖に近い11番のテーブルに陣取り岡部委員長が実力を発揮され、若いゾンシャンのてきぱきとした働きに只々目をみはるばかりであった。

4. 姉妹クラブ台南クラブとのミーティングは彼女たちの「ショッピングに行ってきます」の楽しそうな言葉にかき消され、お土産交換と写真撮影とミーティング中の少しの会話に終わったのは残念だった。

### 5. 最後に次回2年後のAIDM開催地バングラディッシュについて

インドからパキスタン、そしてバングラディッシュと独立して行った国で、ベンガル湾に面しベンガル語が公用語の国です。どんなパフォーマンスを見せてくれるのか楽しみです。皆さんも是非ご参加ください。



エンターテインメントの金獅子と一緒に

## 創立40周年記念式典・祝宴を終えて

創立40周年記念事業実行委員長  
新屋 明美

40周年を迎えるにあたり、その2年前に準備委員会が発足しました。当時は新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行する前のことで、大勢が集まる会を開催してもいいものかどうかというところからの話し合いでした。結果として、私たち（京都Ⅱ）らしく記念事業を開催することになり、2024年10月6日（日）にホテルオークラ京都に、私どものクラブからの33名と全国から90名、総勢123名のゾンシャンが集まりました。

午前11時からの式典に先立ち、武者小路千家社中の皆様のお力添えによる呈茶席を設けました。千和加子会員が、記念日ということで菊のお菓子や短冊の設えを考えてくださり、ご来場の皆さまに秋を楽しんでいただけたと存じます。

式典は一澤恵美会長の挨拶から始まり、その後国際会長からのメッセージをいただきました。ご来賓からもご祝辞をいただき、SOMクラブへの感謝と花束の贈呈、記念事業報告、そして国際女性財団へ記念寄付を行い、無事に式典を終えることができました。

祝宴は薩摩琵琶の奏者、荻山白水様の演奏から始まりました。厳かで凛とした琵琶の演奏に聴き入りました。そしてエリアディレクター佐佐木アユ美様によるご祝辞と乾杯のご発声で祝宴はスタート。とても和やかな会となりました。最後に松谷富美子会員のお嬢さまが主催されているA&Sバレエ教室の皆様によるウクライナダンスで華やかに宴を締めることができました。

たくさんの方のゾンシャンの皆さまにご参列いただき無事に式典と祝宴を執り行うことができ感謝しております。コロナの時は、会議や会合も全てWEB開催となりました。とても便利でしたが、物足りなさを感じました。対面で話ができる場が復活し、この40周年の記念式典と祝宴を無事に開催できたことはとても幸せなことでした。独りではきかないことも、クラブとしてならできることがあります。さらに、26地区全体ならびにすることも大きくなります。手を取り、心を繋ぎ、ゾンタのバトン次世代へというスローガンとすべての女性と少女のために平等な権利と暴力のない生活を実現するために、次の10年に向けてまた一歩ずつ進んでいきたいと存じます。

この事業が開催できたのは、準備委員の皆さまとすべての会員の皆さまのおかげと、改めて心より御礼申し上げます。有難うございました



京都Ⅱクラブ全員集合！



チャーターメンバーも皆様お元気です



荻山白水様とご一緒に 可憐なウクライナダンス

## 留学生だより

### 留學生活について

同志社大学大学院  
総合政策科学研究科博士後期課程 河野 有里子

この度、奨学生に選んでいただき、2024年9月から翌年4月までカナダのThunder BayにありますLakehead Universityにて充実した留学をしてみることができました。誠に感謝申し上げます。ここは、トロントから飛行機で約2時間、スペリオル湖西岸に位置し、先住民が多くいる地域です。亜寒帯気候のため、1月頃に零下35度の極寒を体験しました。もうどこにいても寒さには耐えられる経験をした気がします。先述の通り、先住民がおり、政府は共生を目指していますが、一方で、先住民への優遇政策に対する批判など難しい面があります。私の大学では、先住民研究が進んでおり、彼らの様々な文化に触れることができましたが、実生活において、先住民と、他の人々との警察等が分けられていたり、共生なのか分離なのか、難しい部分も目にしました。

学びについて、政治コミュニケーションと、ジェンダー政策に関する研究を目的に留学をしていましたが、カナダの現実に驚くことばかりでした。ジェンダー政策については、日本よりも発展していると思っていましたが、クラスメイトと議論してみると、まだまだ現実的には、日本と同じような課題が多くありました。政治コミュニケーションについては、ちょうど、隣国アメリカでのトランプ大統領の再選と、関税問題が発生し、毎授業、議論が盛り上がっていました。また、生活面では、カナダを51州目に発言や、関税に対抗すべく、BUY CANADIANというカナダで団結しようとする運動が積極的に行われていました。

さて、今回の留学で、日本人であるということについても考えさせられました。なぜなら、現地には、移民を目指す中国・インド圏からの学生が多く、移民を考えたことがなかった私は日本という国の素晴らしさを感じつつも、日本人の自分は、マイノリティとなるということも感じました。彼・彼女らには、コミュニティがあり、その中で情報共有し、助け合いをしていました。この経験は私にとって、日本人ということに胡座をかいてはいけないと痛感しました。一方で、彼らと関係構築ができれば（同国人と深度は異なるかもしれませんが）、歓迎してくれ、交流ができました。このことから、自ら積極的に人と繋がりに行く姿勢と、海外でもやっていけるという自信を持ち、日本の弱点と強みを理解した広い視野・領域で活動していく研究者を目指したいと思います。



学内でのボランティアプログラムの修了証授与式



毎週通っていた教会のユースグループとの送別会



奥のSleeping Giantと凍ったスペリオル湖を背景に



カナダといえばビーバー、学内で発見！

## 第41回チャリティー園遊会について

大谷 綾乃

と き: 2025年4月23日(水)

ところ: 御寺 泉涌寺 妙応殿

桜の季節から新緑に移り変わる頃、京都の社寺仏閣を中心に開催され続けて41回目の園遊会。今年は東山区の「御寺 泉涌寺」を会場とし、約500名の来客を迎えて華やかに繰り広げられた。

泉涌寺は、皇室の菩提寺であり篤く信仰されている真言宗泉涌寺派の総本山であり、菊の御紋がまぶしい。「御座所」は皇族方が参拝される時の御休息所である。特別拝観券を用意して、多くの方々に参拝していただいた。バザーは、多目的ホール「妙応殿」をお借りし、お釈迦様の尊前で賑やかに行われた。

正面玄関には、西阪専慶流家元（西阪会員）の華やかな生花が来客を出迎えてくれる。お茶席は、官休庵武者小路千家家元（千会員）のお社中の協力により設えられ、和敬清寂の気品溢れる空間となった。襖絵に細心の注意を払いながらの設営も印象に残る。

お弁当は毎年好評の「三友居」に依頼し、御寺にふさわしく精進料理を提供。上品に滋味溢れる味わいに、皆様の笑顔が広がった。

出店は、菓子・茶・香・漬物・カバン等を京都ならではの老舗、18店が並ぶ。寄贈品コーナー、ゾントショップも大人気。健康相談も優しい会員のお医者様と和やかに話し合える。

京都IIゾント創立の41年前、女性パワーをいかに活動させるか？バザーをするなら名前をなんとしよう？チャーターメンバーは考えた。園遊会では着物でお洒落をして出席せねばとか、バザーでは騒々しい安売りのイメージを持たれる等々。結局、欲張って「チャリティー園遊会」と名付けたのだ。古都・京都の歴史と庭園を拝観し、お買い物を楽しみ、おいしいお弁当をもてなす。地方も、地元の方々も喜んでもらえる有意義な会に！以来、幸いにも出店も来客も定着し、ファン層も多くなってきた。

ご縁ある皆様のお陰で、一期一会の園遊会が今年も無事に開催出来ましたこと、厚く御礼申し上げます。



全員集合!



お迎いの生花

お茶席の床間



菊のお菓子

三友居(精進お弁当)

新緑のお庭

## ● 京都IIゾントクラブ2024年度寄付金報告 ●

(2024年6月1日～2025年5月31日)

|      |                          |   |             |              |          |
|------|--------------------------|---|-------------|--------------|----------|
| 国際寄付 | 内訳                       | ● 予算  |             | ¥300,000*    |          |
|      |                          | ● アメリア・イアハート基金                                    | \$1,000     | (¥150,219)   |          |
|      |                          | ● Endowment Funds                                 | \$1,068     | (¥160,434)   |          |
|      |                          | ● Zonta Foundation for Women**                    | \$250       | (¥41,110)    |          |
|      |                          | *予算超過分については、特別会計にて調整                              | (国際寄付計)     | \$2,318      | ¥351,763 |
|      |                          | **世界大会出席時の寄付金                                     |             |              |          |
| 国内寄付 | 内訳                       | ● 原田真采氏奨学金  |             | ¥600,000     |          |
|      |                          | ● ヒトデプロジェクト                                       |             | ¥0***        |          |
|      |                          | ● NPO法人ののさん                                       |             | ¥150,000     |          |
|      |                          | ● つばさ園  |             | ¥100,000     |          |
|      |                          | ● きらきら園   |             | ¥100,000     |          |
|      |                          | ● NPO法人アウンジャ                                      | ¥100,000    | +クリスマス・プレゼント |          |
|      |                          | ● 社会福祉法人白百合会 子ども食堂                                |             | ¥100,000     |          |
|      |                          | ● RAWAと連帯する会                                      |             | ¥100,000     |          |
|      |                          | ***プロジェクト休止中のため支出なし                               | (国内寄付計)     | ¥1,250,000   |          |
|      |                          |   | (国際・国内寄付合計) | ¥1,601,763   |          |
| その他  |                          | ● チャイルド・スポンサーシップ                                  |             | ¥162,000     |          |
|      |                          | (2024年6月～11月分 ……@4,500×チャイルド3人分×6ヶ月=¥81,000)      |             |              |          |
|      |                          | (2024年12月～2025年5月分 ……@4,500×チャイルド3人分×6ヶ月=¥81,000) |             |              |          |
|      | ● AIDMプログラム広告費 (本会計から支出) |   | ¥100,000    |              |          |

〈奉仕・アドボカシー委員会〉